

令和6年度 事務事業評価シート（1）

[令和5年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名		公共施設等サイン管理		事業番号	
担当部署名		建築都市 局		都市計画 部	
		都市景観		課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—	
			無	取組の方向性	—	—	—	
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	—	—	—
			無	現状値	—	目標値	—	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9	
			有	取組	観光客の受け入れ環境の整備推進			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	—	—	—
			無	現状値	—	目標値	—	—

2	関連計画						
3	事業開始年度	平成 7 年度	点検対象年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市公共施設案内サイン整備計画、堺市公共施設案内サイン維持管理計画					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民（約81万人）、来訪者	対象数	単位	—		
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	公共施設等に対する円滑な案内誘導を行うことで、市民や来訪者等の利便性を向上させる。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	・堺市公共施設案内サイン整備計画に基づく秩序ある整備の実施や、堺市公共施設案内サイン維持管理計画に基づく適切な維持管理により、市民や広域から訪れる不特定多数の人々を円滑に市内の公共施設等に案内誘導できるよう利便性の向上を図る。					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	サイン作成業者					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標	公共施設等利用者を円滑に誘導できる環境管理					
	当該目標を設定した理由	公共施設案内サインの適切な管理により、市内の公共施設等に案内誘導できるようになるため。					
	目標に対する実績	公共施設案内サイン管理数245基					
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
12	サイン安全点検の実施	箇所	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			目標値	64	18	23	
			実績値	13	15		
	達成率	20%	83%				
	当該指標を選定した理由	公共施設案内サインの安全点検を実施することで、安心・安全に施設へ案内誘導できるようになるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	設置後の経過年数を考慮し、実施する点検の目標値を設定。					

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	公共施設等サイン管理	事業番号	017-009
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	3,088	4,331	4,332	3,053	7,135
13 財源内訳	国支出金				0
	府支出金				0
	市債				0
	その他 ()				0
	受益者負担金(使用料、手数料等)				0
	一般財源	3,088	4,331	4,332	3,053
14 人件費 (b)	10,250	10,250	9,315	9,315	8,100
15 年間経費(c)=(a)+(b)	13,338	14,581	13,647	12,368	15,235

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源	
								R5 決算
16 事業費内訳	サイン修繕業務 (維持管理)	R5 決算	2,090	2,090	その他保険料	R5 決算	41	41
		R6 予算	4,039	4,039		R6 予算	50	50
	サイン修繕業務 (緊急対応)	R5 決算	0	0	印刷製本費	R5 決算	24	24
		R6 予算	200	200		R6 予算	0	0
	施設等修繕料	R5 決算	0	0		R5 決算		
		R6 予算	300	300		R6 予算		
サイン撤去工事	R5 決算	891	891		R5 決算			
	R6 予算	2,500	2,500		R6 予算			
消耗品費	R5 決算	7	7		R5 決算			
	R6 予算	46	46		R6 予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和4年度	令和5年度
① サイン安全点検の実施箇所数	箇所	13	15
② 上記①にかかる年間経費	千円	14,581	12,368
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	1,121,615	824,533
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>公共施設案内サインを適切に維持管理するため、現地確認を行い点検内容や修繕内容を精査した。また、職員による安全点検もあわせて実施することで、当初の想定よりも実施箇所数が減となったものの、単位当たり経費を抑えつつ、安全性を確保することができた。</p>
----	---

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>公共施設案内サインについて、サインの種類によって年度毎に点検を実施しているため点検実施箇所数にばらつきがあるものの、現地確認を行い点検内容や修繕内容、点検対象のサインを精査して安全点検を実施している。これに加えて職員による安全点検を実施することで、安全性を確保でき安心・安全な案内誘導につながっている。今後も、市民や来訪者などの方々を市内の公共施設等へ円滑に案内誘導し利便性向上に寄与するため、公共施設案内サインの安全点検の実施や表示内容の修正、修繕等を適切に行う。</p>
----	--

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見 (前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和5年度とした事業のみ記載)

必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い	公共施設案内サインの安全点検や修繕等を実施することで、安心して案内サインを利用することができるようになり、市民や来訪者などの方々を市内の公共施設等へ円滑に案内誘導することができ、利便性向上に寄与している。
有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い	引き続き、安全点検の実施や老朽化したサインの撤去など適切な維持管理が必要である。